

豊かなむらづくり全国表彰事業

趣旨

「豊かなむらづくり全国表彰事業」は、農林水産祭の表彰行事の一環として、農山漁村における「むらづくり」のモデルとなる優良事例を表彰し、その取組を広く紹介することで、「むらづくり」の全国的な展開につなげていくことを目的として昭和54年から行われており、本年で41回目となります。

令和元年度豊かなむらづくり表彰式で3団体が表彰されました

令和元年11月11日(月曜日)、名古屋能楽堂(名古屋市中区)において、令和元年度豊かなむらづくり表彰式を開催し、東海農政局の富田局長から3団体に賞状が授与されました。

受賞者	団体名	県名	市町村名
農林水産大臣賞	加子母むらづくり協議会	岐阜県	中津川市
東海農政局長賞	農事組合法人大野瀬温	愛知県	豊田市
東海農政局長賞	農事組合法人飛雪の滝百姓塾	三重県	南牟婁郡紀宝町



富田局長(左)から農林水産大臣賞を受ける「加子母むらづくり協議会」中島会長(中央)と中島副会長



受賞3団体の集合写真

豊かなむらづくり表彰式の模様



東海農政局 富田局長あいさつ



島村地方参事官による受賞団体取組紹介

表彰式には、受賞団体の代表者(加子母むらづくり協議会 中島会長、大野瀬温 大石代表理事、飛雪の滝百姓塾 木下代表理事)、東海農政局むらづくり審査会審査委員(会長 大野三重大学教養教育院教授)、県・市町担当者、東海農政局幹部が出席しました。

当日は、受賞団体の取組紹介、選賞審査報告、表彰状授与の後、受賞団体の代表者から謝辞が述べられました。



むらづくり審査会 大野会長の選賞審査報告



表彰状授与「大野瀬温」大石代表理事



表彰状授与「飛雪の滝百姓塾」木下代表理事



「加子母むらづくり協議会」中島会長 謝辞

加子母むらづくり協議会(岐阜県中津川市)

～ 若者が回帰するむらづくり ～



加子母地域全景



「加子母むらづくり協議会」関係者 表彰式集合写真

背景

市町村合併を機に自主的な地域運営に取り組むため、平成24年に組織化。平成27年には、協議会内に経済活動の発展を目的とした「NPO法人かしもむら」を設立。

取組内容

- 農業研修施設を整備し研修生を受け入れ、この10年で6人の新規就農者を確保。
- 大学生が木造建築実習を行いながら地域住民と交流を図る「かしも木匠塾」を毎年開催し、地域の活性化と林業関連の就業を促進。
- 複数の大学と連携し地域の課題に取り組む「域学連携事業」で、年間を通して延べ4,000人の大学生が滞在、地域住民との交流や各種活動を実施。
- 「空き家対策検討委員会」で、定住促進のための移住可能な物件データを作成。平成28年の委員会設立後、3世帯6人のIターンと2世帯6人のUターン移住者を確保。

今後の展開

今後は農林泊の取組で受け入れ態勢を整備するとともに、2027年のリニア中央新幹線の開通を見据えた、地域に人を呼び込む仕組み作りを推進し、また地域の伝統や特色を生かした「人づくり」、「地域づくり」で、30年、50年先を見据えたむらづくりを目指す。

【写真で見る団体の取組】



6～12月の第3日曜日に開かれる軽トラ市は高齢者の生きがいづくりにもなっている



トマト研修農場「かしも健康とトマト村」で研修生を受け入れ、就農支援も行う



小学生がトマト栽培を学ぶ「トマト大作戦」トマト生産組合の指導で定植作業



大学生が木工技術を学ぶ「かしも木匠塾」の閉校式 25年の歴史があり8大学約300人が参加



地域と大学の連携活動「域学連携事業」活動報告会での集合写真



「NPO法人かしもむら」が市から管理受託する県重要有形文化財の「かしも明治座」